

串間市入札等監視委員会の設置目的等について

令和6年5月23日に串間市入札制度等検討委員会より「串間市における入札・契約制度及びコンプライアンスのあり方に関する提言」があり、その中で、公共工事等における入札及び契約の過程等の透明性を確保するため、当委員会の設置について強く要請がありました。

当委員会は、公正・中立な第三者の立場から、対象事案に関する意見を聴取し、市の入札・契約制度及びその運用の適正化を図ることを目的とし、不適切な点等が見受けられた場合は、市長へ意見の具申等を行う権限が与えられています。

1. 所掌事務について

串間市入札等監視委員会設置要綱

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 市の入札・契約制度及びその適正な運用に関すること。
- (2) 市が契約した案件のうち委員会が抽出したのに関し、入札参加資格の設定の理由、入札に係る指名の理由及び経緯、契約の理由等に関すること。
- (3) 市が契約した案件のうち、談合情報が寄せられたものについて、市の対応状況等に関すること。
- (4) その他入札及び契約の手續の透明性及び公正性の確保に関すること。

(1)市の入札・契約制度及びその適正な運用について

市の制度や運用に係る検討事項についてご審議いただき、より適正で公正な運用に向け委員の皆様のご意見を聴取いたします。

(2)抽出案件の審議について

要綱第2条第1項第2号において抽出案件に関し審議を行うことが定められています。またその中で、不適切な点等があった場合には市長に意見の具申を行う権限が付与されています。

具体的には以下の点等について担当課より説明を受け、入札・契約が適切に行われているかどうかについてご審議いただきます。

- ① 一般競争入札方式参加資格の設定の理由及び経緯
- ② 指名競争入札方式に係る指名の理由及び経緯
- ③ 公募型プロポーザル方式、簡易公募型プロポーザル方式、標準プロポーザル方式、企画競争方式及び参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式に係る応募要件等の設定の理由及び経緯
- ④ 公募型指名競争入札において指名されなかった者がある場合の指名しなかった理由
- ⑤ 随意契約における見積依頼の相手方の決定経緯
- ⑥ 随意契約を行った理由
- ⑦ 低入札価格調査を行った場合の調査の経緯等
- ⑧ 不落、不調等があった場合は、その理由等
- ⑨ その他市長が審議を要すると認める事項

(3)談合情報への対応状況等について

第2条第1項第3号に定められた談合情報への対応については、市へ寄せられた談合情報に対する市の対応状況について運営要領別記様式第3号における報告を受け、対応の内容が適切であったか等についてご審議いただきます。

また、委員会は警察や公正取引委員会等とは異なり、刑法の談合罪や独占禁止法違反事案に係る調査を行う専門組織ではなく、かつ強制捜査権も持たないため、その調査には限界があること、また違法行為の認定を行う権限を持たない機関であることに留意した上で、適切に運営を行っていく必要があります。

(4)その他入札及び契約の手続の透明性及び公正性の確保について

上記のほか、市の入札及び契約の手続の透明性や公正性の確保に関する事項について、委員の皆様の意見を聴取させていただく場合がございます。